

< 沖縄県立北谷高等学校 >

芸術科 書道Ⅲ 授業シラバス

教科	科目名	単位数	学年	学級
芸術科	書道	2	3学年	2, 4,

1 学習目標

学習の到達目標	・表現と鑑賞を有機的に関連させて展開される書道の創造的な諸活動をとおして書を愛好する心情を育てるとともに感性をさらに高めていく。 ・書の文化や伝統について理論的な側面を含めて理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばしていく。		
使用教科書・副読本等	光村図書	「書Ⅲ」	学習形態

2 学習計画

<評価の観点> 1 関心・意欲・態度 2 話す・聞く能力 3 書く能力 4 読む能力 5 知識・理解

学期	月	週	学習項目	学習内容	時間
1 学期	4	1	一 書の美を求めて 1 書と文化 2 書論による書の理解と鑑賞の深化	書道3の学習への導入を図り、学習態勢を整える。 書の学習の在り方や芸術についての理解を深め、文化との関わりの中で伝統的文化を尊重し、育成する態度を養う。	6
		2			
		3			
	5	4	II 楷書 ① 高貞碑の鑑賞と臨書 ② 雁塔聖教序と温彦博碑の鑑賞と臨書 ③ 顔氏家廟碑の鑑賞と臨書 ④ 楽毅論と洛神賦十三行の鑑賞と臨書 ⑤ 楷書による創作と鑑賞	楷書の美しさの多様さを知らせる。さまざまな結構法、用筆法を学び創作活動を視野に入れた臨書指導を行う。	8
6	8	III 行書・草書 ① 李柏尺牘稿の鑑賞と臨書 ② の鑑賞と臨書 ③ 書譜の鑑賞と臨書 ④ 三筆の書の鑑賞と臨書	集王書の二つの作品と比較して、その違いはどこから感じられるかを話しあう。 書譜の優れた古典臨書を学ぶことで、高度な運筆や表現方法を学ぶ。	8	
	9				
7	10.11	⑤ 宋代名家の鑑賞 ⑥ 行書・草書による創作	時代の変遷と共に宋代名家の作品から個性化、多様化された表現を学ぶ。	4	
	12				
2 学期	9	14・15	二 漢字の書の学習 I 篆書・隸書 ① 甲骨文・金文の鑑賞と臨書 泰山刻石の鑑賞と臨書	漢字の書流れを概観し、それぞれの書体の持つ特徴や美について理解を深める。 泰山刻石などの果たした意義を理解させる。小篆を用いて楽しく表現する意欲と態度を育てる。	8
		16・17			
	10	18	② 篆書から隸書 ③ 漢代木簡の鑑賞と臨書 ④ 張遷碑の鑑賞と臨書 ⑤ 篆書・隸書による創作と鑑賞 ⑥	篆書から隸書への変遷を学び用筆や運筆を構成により一層理解を深め、張遷碑や乙瑛碑など鑑賞し創作作品の表現の幅をひろげる。	8
		19			
11	20・21	三 仮名の書の学習 ① 古筆書写内容 ② 古筆の名称と由来 ③ 古筆における表現の多様性 ④ 高野切第二種の表現の学習と鑑賞 ⑤ 秋萩帖と良寛 ⑥ 十五番歌合の表現の学習と鑑賞 仮名の昔の創作と作品の鑑賞	中国の漢字を基にしてきた仮名の過渡的な姿を理解する。 和様独特の温雅な書風を味わう。 たくさんの古典に触れ仮名独特の空間や体裁を学ぶ。 表現技法の追求から、それらから離れた表現への理解を深めさせる。	8	
	22				
12	23	四 漢字仮名交じりの書の学習 ① 古名跡との調和 ② 用具・用材の工夫 ③ 漢字仮名交じりの書の鑑賞と創作 ⑦ 漢字仮名交じりの書の生活化	精神の躍動としての言葉と書表現の関連について考えさせ用具用材の工夫により楽しく幅広い表現を学ぶ。 言葉をいかしきった書が、豊かな日常生活にどのように寄与するか考えさせる。	4	
	24				
3 学期	1	25	五 篆刻・刻字の学習 I 篆刻 II 刻字	篆刻への関心を深め、多様な表現を試みる。 身のまわりの書文化への理解を深め総合的な視点で書を把握し積極的に日常生活に取り入れていく態度を育成する	8
		26			
		27			
		28			
		29			
		30・31			